

# 整 形 外 科 学

## 1 担当教員名

【 研究指導教授 】 教授 高 橋 伸 典

【 科目担当者 】 准教授（特任） 池 本 竜 則

## 2 教育目標

### (1) ねらい

学生が、整形外科の領域で指導的な役割を果たすべく、高度な専門知識・技能を含む豊かな学識を備え、また医師としてだけでなく、自立した科学者として研究活動をおこなうための資質・能力を修得し、論文作成を通して自らの研究を証明する事の大切さを理解する事である。

### (2) 学修の到達目標

- ① 学生は、専門分野の基礎知識と、それを説明することが出来る。
- ② 学生は、積極的に他者とかがわり、多様な人々との対話を通して相互理解に努めることが出来る。
- ③ 学生は、専門分野の情報収集と分析を行う事ができる。

## 3 授業内容

【 講 義 】	小児整形外科学, 外傷外科学, 成人整形外科学における病態生理, 治療法について講義する。
【 演 習 】	一般整形外科学, 外傷外科学, 関節外科学, 関節リウマチ, バイオメカニクス, 生体材料, などについての新しい内外文献の紹介, それらについての討論, 更には実験結果の紹介, 討論を行う。
【 実験研究 】	外来並びに入院患者について, その診断法及び術前術後の処置の指導, 並びに手術の実地指導を行う。また, 一般整形外科学, 外傷整形外科学, 関節外科学, 悪性腫瘍の外科的療法に対する病態生理学的研究, 並びにそれらにおける外科的治療法及びバイオメカニクス, 再生医療, 生体材料からみた新しい治療法の開発について実験的研究を行わせる。

## 4 成績評価の方法・基準

実習態度, 文献検索能力, 論文作成能力を試験, 課題レポートなどで総合判定する。

## 5 教科書・参考図書

### 参考図書

書名	著者名	出版社	出版年
標準整形外科学	内田淳正 監修	医学書院	2017年 13版
TEXT 整形外科学	糸満盛憲, 佐藤啓 二他編	南江堂	2012年 4版

## 6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

事前にテキストの事例などに目を通しておく。(1週間に7時間程度の予習・復習が望ましい)

## 7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

- ・発表活動を通して, 必要とされるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を修得し, 研究における指導的な役割を担うことができる。
- ・整形外科領域に関する論文作成を通して, 関節に関する分野での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究実践力を身に付けることが出来る
- ・本講義の学修を通して, 社会の諸問題を理解し, 整形外科の分野の研究に精通することで, 国際的視野に立つ研究を遂行できる。

## 8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

- ・レポートは, 評価後返却されるが, 内容に不足・誤りがある場合は再提出を求めることがある。
- ・講義, 実習中に疑問点の解説, レポート内容の評価等フィードバックを行う。
- ・レポートの内容について, 個別に指導する。

## 9 履修上の留意点

問題点の把握, 文献検索を通じた問題点の適正化, 問題点を解明する為の方法論, 具体的アプローチ等, 研究者として必要な組み立て方を勉強することを第一とする。結果的に優れた業績が出なくても, 大学院教育の目的は達成されていると判断する。

## 10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授	高橋伸典	水	14:00-17:00	整形外科医局または教授室	内線 22125
		木	14:00-17:00		
准教授(特任)	池本竜則	月	17:00-17:30	C棟9階 整形外科医局	内線 22125